

# 会宝お客様通信

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌

8 月号

# ほほえみ

Hohoemi

# ぽすと

Post



## REC（国際リサイクル教育センター）

こんにちは、近藤です。自動車リサイクル技能者の育成を目的として昨年5月に設立したIREC（International Recycling Education Center:国際リサイクル教育センター）が、順調に動き始めています。

これまでに全国同業他社のスタッフ30名余りが受講、これからさらに増えていく予定です。

講義のカリキュラムは学科4日間、実技2日間の計6日間。学科編では、リサイクル一般についての静脈産業論、車両の構造、自動車素材の資源リサイクル、自動車リサイクル法、プレス機、切断機などの生産設備管理、危険物取り扱い、高圧ガス取り扱いなどを含めた安全衛生管理、外部へ流れ出る水質の管理・測定などの環境管理などなど、自動車リサイクル業に関わるすべての分野を体系化し、標準的な業務知識、管理手法について教えています。

実技編ではリサイクル技能者としての技能を持っているかどうか検定試験を行います。適正処理、素材の分別、乗用車解体などを実際にやってもらうことで採点し、学科編で行った講義の試験と合わせて、一定以上の水準に達している受講者を自動車リサイクル技能者として認定しています。

講義のテキストは当社社員が苦勞して作り上げたものです。講師もほとんど社員で行っており、私も最終日



に「働くことの意義」と題して講義しています。また、一部の講義では大学の先生や自動車メーカーのリサイクル専門家など、外部の識者に依頼し、内容を充実させています。

こうして地元の大学には協力を仰いでいるのですが、7月14日からの講義では、金沢工業大学大学院の正規の授業の一環としてIRECでの研修が採用されることになり、8名の学生を受け入れました。

自動車リサイクルの講義が大学院の授業に組み入れられること自体、驚いたことではありますが、考えてみれば、私が常々発言している「静脈産業」という観点から見れば、当然のことなのかもしれません。リサイクル業はこれからの産業ということを実感しています。

# ～広報コーナー～ ✨ キラリと光る存在に ✨

2008年7月19日(土)

参加した常務の坂井茂夫からのコメント



**温暖化防止フェスタかなざわ 2008**  
～みんなやってる? CO<sub>2</sub>削減～



金沢市が主催する温暖化防止をテーマとする環境フェスタに、会宝産業も参加し、展示コーナーではトレジャーチェアの普及及び IREC での自動車リサイクル技能者養成による温暖化防止への取組みについて出展いたしました。場所は金沢歌劇場で、21世紀を担う子供達の夏休み最初の土曜日の19日に開かれました。午前中は主に小学生が楽しめるエコクイズ大会やエコレンジャーショー等のイベントが行われ、子供連れのお母さん達も加わり会場は大繁盛でした。午後には日本を代表する環境ジャーナリストの一人、枝廣淳子さんによる「金沢から考える地球環境～温暖化は史上最大の今がチャンス」と題した環境講演会が開かれました。この講演は温暖化は危機としてではなく‘本当の幸せ’とは何かに気づき、政治も経済も、私達一人ひとりの考えや行動を変えて行くことで始めて変える事が出来ると強く感じさせられ、大変素晴らしい講演でした。印象に残るメッセージは、例えそれがどんなに小さなことでも、例え他人が行動を起こしていなくとも、‘わたしはこのことで温暖化防止に役立てて幸せだ’と素直に感じることに尽きると言うことでした。

## 心と心のリレーエッセイ ～次はあなたの出番です～



◎ アメリカ社会から学んだこと ◎

・今月の出番・

国際業務部  
竹島 由加里さん

私は2005年8月からアメリカ、テキサス州にあるエルパソという町へ留学していました。エルパソはアメリカ合衆国とメキシコの国境沿いにある町で、川の向こう側にはメキシコの町並みを臨むことが出来ました。夏には気温40度を超えることもありますが、湿度が10%程度なのでとても快適な気候です。そして人口の約80%がヒスパニック系なので、言語も英語だけでなくスペイン語が日常生活で飛び交い、私にとってはそれまでのアメリカのイメージを一気に覆す環境でした。人々は皆とても陽気でフレンドリーな方ばかり。その反面、エルパソには貧しい人

たちもたくさん住んでおり、道端で物乞いする人もよく見かけました。走っている車は日本車、ドイツ車そしてアメリカ車と様々。しかし、車の状態はどれもボロボロ。ひどくサビた車体やドアが取れかけたままで走っている車を見ることは日常茶飯事でした。アメリカでは年に一回自動車の登録更新を行うことが義務付けられておりますが、\$100前後の手数料と簡単な点検が行われるだけです。日本のように高額な車検は普及していませんし、LEXUSなどの高級車が走る一方、今にも止まりそうな車に乗る人はたくさんいます。このような経験を通じ日本はまだまだ贅沢な国だなあと改めて実感させられたと共に、物を大切に作る心をアメリカ社会を通じて学ぶことが出来ました。

## 上手に食べて、痩せやすいカラダになろう！

ローカロリー食品ばかりに頼ったダイエットは、カラダが冷えることで代謝が落ちてしまい、その結果、痩せにくい体質になってしまいます。代謝を高め、脂肪燃焼しやすいカラダをつくるには、食べる物や食べ方を考えてダイエットすることが大切です。

栄養素をきちんと摂れば、内臓も働いて血行も良くなりカラダも温まります。すると代謝も高まって、脂肪を燃やしやすいカラダに近づくのです。

「冷え」はカラダの機能を低下させます。夏でも冷たい食べ物ばかり摂らず、意識的に温かくて水分の多い食事を心がけましょう。

主食には、塩分や油分をほとんど含まず、水分の多いご飯が断然オススメです。パンやパスタより腹持ちもいいですよ。食べ過ぎた翌日には主食を控え、たんぱく質・ビタミン・ミネラルの多いメニューを心がけましょう。また、無理して食べるのはカラダに負担をかけます。「おなかですくまで食べない」のも、ひとつの方法です。



## こんなとき ぞーする!?

年中行事から

冠婚葬祭まで

### 旅行・帰省時に注意！ 我が家の防犯対策

旅行などに出かける際、気をつけたいのが我が家の防犯です。出かける前に確認したい主な防犯チェックポイントは次のとおりです。

#### ■外出前の防犯対策

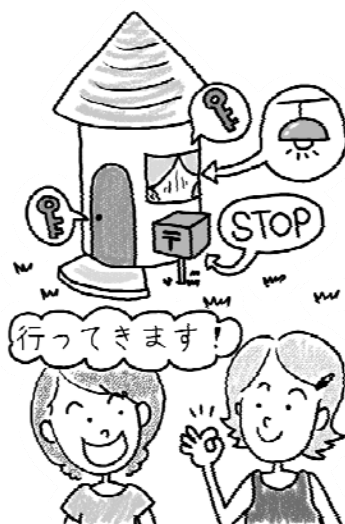
- \*長く不在にするなら新聞は止めておき、郵便物は「不在留置」にする。
- \*外から見えるひと部屋の室内灯を点けておく。
- \*厚いカーテンを引いて出かせない。
- \*家の周りを片付ける。
- \*全ての窓の戸締まりをする(2階やトイレ・浴室の小窓も)。
- \*ご近所や管理人にひと声かける。

空き巣を防ぐには留守を知られないことが大切です。郵便受けから新聞が溢れていたり、日中から厚いカーテンが引かれていたりすれば、「不在です」と不用意に知らせているようなものです。

室内灯が点いていると夜間の侵入者を警戒させます。電源タイマーを使えば、暗くなる時間にタイマーをセットして自動的にライトを点灯・消灯できるので、泥棒が侵入を躊躇(ちゅうちょ)するかもしれません。たいていの泥棒は、侵入に5分かかると5割、10分だと9割以上があきらめるといいます。侵入までの時間を延ばすため、玄関や勝手口には防犯性の

高い鍵や補助錠を付け、窓は防犯ガラス・防犯フィルム・補助錠で侵入者に対抗しましょう。振動などで作動する防犯アラームや、侵入者を感知して威嚇(いかく)するライトも効果的です。

「家に帰ってきたら空き巣に入られていた」では、夏の思い出も台無しです。家のセキュリティを強化し、安心して旅行を楽しみましょう。



# 車輛課からの お得な耳寄り情報



## システムキッチン

システムキッチンのバリエーションは実に豊富です。多彩な機能や素材、予算の中で我が家にピッタリなものを選ぶには、レイアウトと予算を決めてからショールームへ足を運び、実際の使い勝手を体験してみることをおすすめします。

キッチンは毎日使う場所ですから、自分に合わない高さで料理を続けて腰を痛めては大変です。使いやすい高さはどのくらいなのか、しっかりチェックしてください。扉や戸棚の使い勝手、お手入れが楽かなどの細かい点も忘れずに確認しておきたいものです。

キッチンの場所や形まで変えたい場合のリフォームは建物にもよります。排水のための勾配、換気扇の排気、給水や給湯の配管工事などができそうなら工事は可能でしょう。一度、専門家にご相談ください。



08年6月の車両処理実績			
フロンガス	破壊	Kg	213
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		280
廃オイル	リットル		8,150
LLC	リットル		4,000
入庫台数	一般	台	1,075
	投棄	台	
処理台数	台		1,209
廃車ガラ量	トン		637

## 今月のクレーム



皆さんこんにちはの大森です。  
 今月は2種類のコンピュータでお客様にご迷惑をお掛けいたしました。  
 自動車には多くのコンピュータが使用されています。エンジンコンピュータ、ミッションコンピュータ、パワステコンピュータ、サスペンションコンピュータ、ABS コンピュータ、エアバックコンピュータなど。  
 今回はこの中からエンジンコンピュータとパワステコンピュータでどちらも取り

## コンピュータ

付け交換したが交換前の症状と変わらないというものでした。コンピュータに関してはどちらも現車でのテストが問題なしというものでしたが、症状が変わらないということは、まだまだ改善していかなければならない点でもあります。  
 部品課では毎週1回、起こったクレームを1件1件リストにまとめ、クレームミーティングを行っています。どうすれば間違いなくお客様に商品をお届けできるか、日々改善に取り組んでいます。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

E-mail kokunai@kaiho.co.jp

車輛課TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業

